

月刊 ゆがの通信

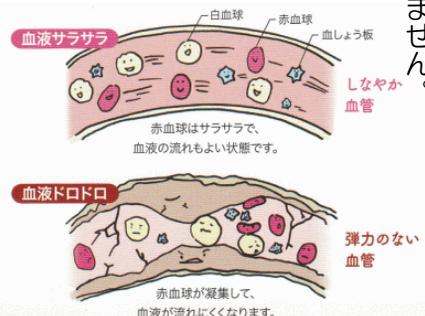
2016年12月号

発行：ゆがの薬局

虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症）は「冠元顆粒」で血流を回復しましょう

虚血性心疾患とは？

筋肉は血液からエネルギーを供給されています。心臓も心筋（しんきん）という筋肉のかたまりで、大動脈から分かれた三本の冠状動脈（かんじょうどうみやく）によって絶え間なく動くためのエネルギーを得ています。心筋は冠状動脈だけからエネルギーを受けており、これが詰まると他から血流をもらえません。



冠状動脈の血流が悪くなる病気を虚血性心疾患（きょけつせいしんじつかん）といい、心筋梗塞と狭心症がこれにあたります。冠状動脈が完全に詰まってしまった結果おきる病気が心筋梗塞で、動脈硬化で血管が狭くなったたり痙攣して血流が不足してしまう状態が狭心症です。

冠状動脈の血流が数十分ないと心筋は壊死してしまいます。そして、一度

壊死してしまうと二度と再生しないので、また、虚血性心疾患を根本的に治癒させる方法もないので予防することが一番重要となります。虚血性心疾患は生活習慣病の代表的な例なので、生活習慣を見直すことでそのリスクは軽減できるのです。

心臓病の薬「冠元顆粒」

虚血性心疾患についてのご相談は高齢の方が多いのですが、三十歳代の方もいらっしゃると思います。胸の中央や左寄り、ところどころに差し込むような痛みや圧迫感が発作的のように起こるといった内容のご相談です。多くの場合、左側の首筋から肩甲骨の上縁あたりにこりや痛みがあります。人によってはこの痛みが左側の腕に沿って手の小指側に流れることもあります。

心電図などの検査によって冠状動脈が部分的に細くなっていたり、詰まっているとわかるケースが多いのですが、なかには異常が見つからない方もあります。このような痛みの原因は狭心症かその疑いのある方です。また、血圧の高い方の中には細い血管が動脈硬化などによって血流が悪くなっていることが原因のケースもあり、肩こりや筋肉のしびれなどの症状を伴っています。

漢方ではこのような虚血性心疾患には丹参（たんじん）という生薬などを配合した丹参製剤「冠元顆粒（かんげんかりゆう）」をおすすめしています。冠元顆粒は血流を回復し、虚血性心疾患を予防・治療するために処方された薬剤なので、それらの前兆となる痛みの原因の血流の悪化を改善します。また、長期の服用により、血圧の安定も見られるようになります。

生活習慣の見直しと日々の冠元顆粒の服用で虚血性心疾患を予防・改善しましょう。

イスクラ産業「冠元顆粒」

（第二類医薬品）

二一包入り（七日分）

三、四二九円十税

四五包入り（一五日分）

六、七〇〇円十税

九〇包入り（三〇日分）

一、二、六二〇円十税



(C) イスクラ産業株式会社

「冠元顆粒」についてのご相談・質問は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております。
（※当社はイスクラ産業発行のチラシなどを読みやすく要約いたしました）

「こころがワクワクするとからだも元気に」

やる気がおこらない、イライラしやすい、心配事ばかりで不安、うつ、眠れない方ケアバランスでこころを安定させ健康な毎日を送りましょう



1ヶ月分 8200円（税込）

ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>